

## 『戦争 遺された者たちの記録』

～その時、女たちは…～

日本において八月は亡くなった人を偲び、その魂を慰める月です。長崎や広島では原爆が投下されて、罪の無いたくさんの人々が命を落としました。そして、あらゆる人々を巻き込んだ戦争は8月15日ようやく終戦を迎えました。

現地に赴いた出征兵の苦しみや悲しみは今の私達には想像を絶する凄まじさがあったことでしょう。しかし、父や夫、兄弟や息子を兵隊にとられ、後に残された女たちもまた苦しみや悲しみを抱えて必死に働いて生きるしかありませんでした。

今回、熊野で作家として活躍されている中田重顕さんに、歴史の歯車と無縁に生きることができなかった熊野の女性たちを取り上げてお話しいただきます。

「愛する者を残して戦地に行った男たち、愛する者を失って悲しみにくれた女たち・・・、戦争はいつでも一番弱い者を踏みにじって進んでいきます。八月の慰霊の日、そんな故郷びとの実際にあった記録を再現し、映像と朗読により検証してみます。」と中田さん。戦後64年、戦争を知らない世代へと時代が流れ、21世紀となった今も女性たちは力強く生きています。本講座を通して熊野にも戦争という忘れてはならない歴史の一端があったことを学びます。



■講師 中田重顕氏（三重県熊野市久生屋町）

1990年頃から小説の発表を始め、作家として活躍中。1992年に三重文学新人賞、2004年に第10回鳥羽マリン文学賞大賞、2005年に三銀ふるさと三重文化賞など、多数の賞を受賞。熊野市文化財保護専門員。みえ熊野学研究会運営委員

■朗読 阪本浩子氏（三重県南牟婁郡御浜町）

心に沁みいる朗読をされる阪本さんに、愛する者を失いながら必死に生きた女たちの聞き書きなどを朗読していただきます。



■日 時 平成21年8月6日（木）

■場 所 紀南ツアーデザインセンター

■募集人数 50名

■お申し込み締め切り 7月31日（金）

■参加費 300円（講師料、資料代等実施経費の一部）  
受講当日、受付でお支払い下さい。

◇お申込み方法 別紙の申込書に必要事項を記入の上、ファックス、郵便またはEメールでお申込みください。



紀南ツアーデザインセンター：担当 宮本

〒519-4323 三重県熊野市木本町517-1

電話 0597-85-2001 fax. 0597-89-3210

メール：[kinan-tdc@nifty.com](mailto:kinan-tdc@nifty.com) ホームページ：<http://homepage3.nifty.com/kinan-tdc/>